

「7月期区長記者会見」 質疑要旨

日時	令和2年7月20日（月） 午後2時～午後3時
出席者	区長、斎藤副区長、高際副区長、池袋保健所長、危機管理監、健康担当部長、政策経営部長、文化観光課長、危機管理課長、治安対策課長、広報課長 朝日新聞社、読売新聞社、産経新聞、日本経済新聞、毎日新聞、東京新聞、TOKYO MX、日本テレビ、テレビ朝日、毎日映画社、共同通信、時事通信社、建通新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、都政新報、豊島新聞社、創発としま、としまテレビ
案件	「豊島区方式」による感染拡大防止対策について、「SDGs 未来都市」および「自治体 SDGs モデル事業」への選定について

区長ほか	「豊島区方式」による感染拡大防止対策についての説明 「SDGs 未来都市」および「自治体 SDGs モデル事業」への選定についての説明
質疑応答	
記者	クラスターが発生したホストクラブとそれ以外のホストクラブにおいて、PCR 検査を何名に実施したのか。そのうち何名が陽性だったのか。また、陽性者のうち、区内と区外の居住地別の割合はどれくらいだったか。
池袋保健所長	クラスターが発生したホストクラブの受診者数については、公表を差し控えている。それ以外のホストクラブ 8 店舗のうち1店舗は自主的に PCR 検査受診を実施したとのことなので、その 1 店舗を除く 7 店舗 47 名について、PCR 検査を実施した。受診者の居住地は把握していない。
区長	まず、クラスターが発生した 1 店舗について全従業員に PCR 検査を実施した。次に、自主的に検査をした 1 店舗除く 7 店舗について全従業員に同様の検査を行った。そして、本日、全員が陰性との報告があった。自主検査をした店舗を加えると、約 100 名にものぼる。池袋繁華街のホストクラブ従業員については、もれなく PCR 検査を受けたとの認識である。
記者	今回は、7 店舗 47 名が PCR 検査を受けたということか。
池袋保健所長	おっしゃる通りである。
記者	最初にホストクラブで発生したクラスターの人数について、公表しない理由をお聞きしたい。また、先日の「緊急 繁華街 新型コロナウイルス感染防止大会」において、区長は積極的に情報公開を行うと発言したが、どのような情報を今後公開していくのか。
池袋保健所長	陽性の方も治療が終了しており、店舗はすでに営業再開しているため、改めて人数を公表する必要はないと考えている。
区長	今後の情報公開について、「全員が検査した」という報告や検査人数等の情報は引き続き公開していきたいと考えている。個人情報等への配慮も必要な中、どこまで踏み込んでいけるか、周囲の意見を聞きつつ、できる限り公開していきたい。

記者	現在、キャバクラにおける PCR 検査を進めているとのことだが、何店舗に行く予定か。
危機管理監	キャバクラについては区内に 300 店舗あり、現在 PCR 検査を依頼しているのは 21 店舗である。うち 7 店舗から反応があり、そのうち 3 店舗は検査を実施済である。その他は調整を進めている。
区長	店舗の絶対数はつかめていないが、スピーディに対応していく。従業員の皆様も協力的だ。キャバクラでも感染者が発生しているため、発生していない店舗においても検査の範囲を広げていく。まずは特定の範囲に絞って、ピンポイントに検査を実施していきたい。また、検査体制については医師会の協力も得ている。積極的に繁華街の検査を進めていきたい。
記者	21 店舗とは「声をかけた店舗数」ということで良いか。また、キャバクラについては何名に PCR 検査を実施する予定か。
危機管理監	直接伺い、検査の依頼をしたのが 21 店舗。そこから検査を拡大していく予定である。本日、3 店舗 22 名が検査を受診した。残りの人数や日程については調整中である。
記者	「ななま〜る七つの宣言」に関して、誓約書を作成するとのことだが、どういった内容のものか。
文化観光課長	ななま〜るのステッカーを差し上げる条件として、「ななま〜る七つの宣言」を確認していただくとともに、「上記の宣言を守り、自ら感染しない、感染させない取り組みを徹底します」という宣言に対して、店舗の方の署名をいただく。それをもって、誓約書としている。
記者	ホストクラブの PCR 検査において 47 名全員が陰性だったとのことだが、感染対策が取られていたということか。他区では寮生活により感染が拡大したとの見解があったが、池袋はクラスターの発生にどのような背景があるか。
池袋保健所長	47 名が寮生活をしているかどうかは全員に聞き取りをしていないため不明だが、中には共同生活をしていたケースもあったので、同様の可能性は否定できない。
記者	ホストクラブやキャバクラ以外の業種について PCR 検査を行う予定はあるか。
高際副区長	区内で接待ともなう飲食店は約 300 店と聞いており、ホストクラブ以外はほぼキャバクラである模様。今後も精査は必要だが、その 2 つに関してまずは徹底的に対策を進めていく。 その他の場所で、職場クラスター等が発生している例も散見されるが、多くは飲み会が一因となっているようだ。居酒屋等においては、第一に感染拡大を防止する必要がある。地道ではあるが、ななま〜るのステッカーを活用して感染拡大防止策を講じているか確認を行なっていく。
記者	区には法的権限が無い中、休業要請の行政主体として都が行う等といったことはあるか。
高際副区長	法に基づく休業要請というのは都道府県知事が行うものであり、区が現在行っているのは「要請」ではなく、あくまで「休業協力」をお願いするものである。

区長	<p>ホストクラブやキャバクラへの大規模 PCR 検査の実施により、検査の要請の増加を見込んでいる。ななま〜る七つの宣言を有効活用していただき、疑義が生じた場合は保健所へすぐにご連絡いただきたい。先手先手で対応していく。</p> <p>関連団体等とも緊密に連携を取って、池袋繁華街の安全を公民連携で守っていく。その一環として、繁華街へのポスター掲示も精力的に進める。</p> <p>店への休業依頼については、区があくまで「休業協力のお願い」という立場をとっているが、やはりルール作りは必要と考え、「豊島区ルール」に基づき実施する。</p>
記者	<p>官房長官より、先日風俗営業法について言及がなされたが、区長という立場でどう受け止めたか。</p>
区長	<p>区の情報のみでは実態が掴めず、対応もできない。区のみでなく、保健所や警察の協力をもとに、一体となって取り組むべき事項である。今回の件がなければ区としてはなかなか踏み込めない分野かもしれないが、我々がふみこんでいかないと対策を徹底できないのでは、という想いもある。中途半端に終わらないよう、徹底的に対策を講じていきたい。</p>
記者	<p>感染者が増加しており、伴って保健所の対応件数も増えていると推測できるが、どのように対処しているか。</p>
池袋保健所長	<p>先月下旬から感染者および濃厚接触者が増加しており、検査件数も増えている。区職員の応援や都の派遣人員の補充などで、人数増やし対応している。</p>
区長	<p>現在の保健所は、なんとか持ちこたえている状況。保健所は対策の主体であるので、医師会等と連携をとり、医療体制が崩壊しないよう先手で対応していく。この難局を乗り越えたい。</p>